

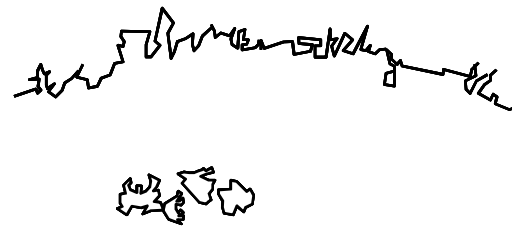
# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 14号)

平成31年 2月25日発行  
 兵庫のみ研究所

地先漁場では小型珪藻が前回(2/15)調査同様やや多く確認され、低栄養塩の状況が続いています。沖合漁場においては珪藻の発生量は全般に少なく、窒素は概ね  $2 \mu\text{g-at/L}$  前後でした。

(栄養塩、珪藻) この海域全域において大型珪藻コシノディスカスは少し(海水1Lあたり20細胞程度)確認されるまで減少している。地先漁場では小型珪藻のキートセロスが前回調査同様に見られるが、色素は薄く細胞も崩れかけており活力は低いと所感される。沖合でも、地先に面する漁場ではキートセロスが確認され窒素は  $1 \mu\text{g-at/L}$  前後、それ以外の漁場では珪藻はほとんど確認されず、概ね  $2 \mu\text{g-at/L}$  台の値であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.4	1.1	1.2	0.7
	リン	0.26	0.15	0.13	0.11
家島・坊勢	窒素	2.1	1.8	1.5	2.4
	リン	0.33	0.27	0.28	0.40

(2/15) (2/23)

栄養塩(窒素) 図

平成31年 2月25日調査

